

令和3年 第1回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印西市議会

| 順番 | 会 派 名 | 議員番号 | 議 員 名 | 質問方式 |
|----|-----------|-------|----------|----------|
| 1 | 新 政 | 1 8 番 | 軍 司 俊 紀 | 登壇一問一答方式 |
| 2 | 公 明 党 | 1 1 番 | 浅 沼 美 弥子 | 一括方式 |
| 3 | 日 本 共 産 党 | 2 0 番 | 山 田 喜 代子 | 登壇一問一答方式 |
| 4 | 至 誠 | 6 番 | 稲 葉 健 | 一問一答方式 |
| 5 | 創 進 | 1 0 番 | 櫻 井 正 夫 | 一問一答方式 |
| 6 | 響 (ひびき) | 1 9 番 | 金 丸 和 史 | 登壇一問一答方式 |

新 政

質問者 18番 軍 司 俊 紀

1 新型コロナウイルス対策について

非常事態宣言が延長される中で、印西市はどのような対策を考えているのか。

- (1) 令和3年度の当初予算では対策費としていくら計上されているのか。
- (2) 市の独自事業として行ったPCR検査の結果をどのように評価し、今後についてどのように考えているのか。
- (3) 自宅療養者のフォローを市ではどのように考えているのか。

2 介護施設の運営について

第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画が4月から始まるにあたり、介護施設とどのように連携強化をはかっていくのか。

3 デキシー跡地の利用について

板倉市長は3期目における所信表明でデキシー跡地へ賑わいの場の創設をすると発言されたが、現状どうなっているのか。

4 ふれあい文化館の休館について

ふれあい文化館大規模改修工事に伴う休館が5月1日から予定されているが、児童館や会議室の代替について議論は進んでいるのか。

公 明 党

質問者 11番 浅 沼 美 弥 子

1 令和3年度予算・事業と今後の取組について伺う。

- (1) 予算編成にあたって新手法を取り入れるなどの取り組みはあったか。
- (2) 毎年国から「地方財政の見通し・予算編成上の留意事項等」の発表があり速やかに議会へ連絡するよう示されているが対応は。
- (3) 前年の10月ごろに予算編成方針や、予算編成過程についても公開する自治体が増えている。当市の見解は。

- (4) 国の目玉政策・デジタル政策については、昨年12月に「実行計画」「推進計画」が矢継ぎ早に発表された。「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」では自治体に取り組むべき具体的事項・内容がまとめられている。また、「令和3年度の地方財政の見通し・予算編成上の留意事項等」でもデジタル政策の重要性が示されている。そこで当市における自治体DXへの取組状況は。
- ① 予算における項目、今後の印西市DX普及計画の策定について。
 - ② 幅広いデジタル化推進のための人材確保が重要。CIO補佐官など外部人材を任用するなどデジタル人材確保策は。
 - ③ デジタル業務を担う専門職員の育成策は。
- (5) マイナンバーカードの申請促進及び交付体制の強化
- ① 国は、令和4年末にはほとんどの住民がカード保有できることを目指し、令和3年度には郵便局での発行・更新を可能にする予定と聞く。宣伝費用や集客に要する経費の補助がある出張申請受付、臨時交付窓口の開設、土日の開庁実施拡大など、申請促進及び交付の円滑化、体制強化の取組はどうか。
 - ② マイナポイント期間の延長や対象拡大を受け当市の取組はどうか。マイナポイントの予約・申し込み支援や、統一「J P Q R」の普及などの環境整備の取組等は。
- (6) 市役所等におけるテレワーク環境の構築については。
- (7) デジタル活用環境を構築・推進する事業
- ① 情報弱者に対して訪問型の相談対応など地域住民に対するきめ細かなデジタル活用支援は。
 - ② オンラインでの行政手続き等に対する講座、オンライン会議システムを活用したイベントの開催等の取組などは。
- (8) 地域社会の維持・再生に向けた対応策
- ① 生活を支えるサービスの確保策として新事業や拡充する事業は。
 - ② 地域コミュニティ再生の取組を推進するための新事業や拡充する事業は。
- (9) 防災・減災・縮災対策
- ① 国は、緊急自然災害防止対策事業、流域治水対策事業として対象を拡大し令和7年度まで継続。国土強靱化を図る。これに対応した市域強靱化への取組は。
 - ② エアコン等の設置、発熱者専用スペースの確保、換気扇、洗面所、感染防止用備蓄倉庫等、避難所における新型コロナウイルス感染症対策の取組は。
 - ③ 福祉施設等における豪雨災害対策に対する推進事業は。
 - ④ インフラ老朽化対策事業は。

- (10) 子育て安心社会の実現
- ①子ども子育て支援策としての新規事業、拡充事業は。
 - ②一人一律10万円の給付金を令和3年度に生まれる子についても支給する考えはないか。
 - ③血縁関係のない親子を含む家庭「ステップファミリー」への支援は。
- (11) コロナ禍にあって令和2年度に中止となったイベント等に対する対応は。

2 脱炭素社会の構築、地球温暖化対策

菅総理は「2050年CO2排出実質ゼロ宣言」をした。2020年10月26日時点で166自治体も宣言を表明。千葉県では我孫子市、野田市、浦安市、山武市、四街道市が宣言し全国に広がっている。

また、気候ネットワークは、2030年目標を50パーセント以上削減へ大幅引き上げを求めているし、自然エネルギー財団は2030年度までの45パーセント削減が必要とのコメントを発表している。2030年の目標設定、省エネや再生可能エネルギーの利活用など市の具体的な取り組みの積み重ねが重要。

(1) 2050年CO2ゼロへの対応

- ①当市の地球温暖化防止計画の目標値
- ②令和3年度の新規事業・拡充事業
- ③地球温暖化防止計画の見直し予定
- ④先進事例の把握・調査状況

(2) 公共施設のエネルギー性能の向上

東京都世田谷区では、地球温暖化対策として環境にやさしい自然エネルギー（再生可能エネルギー）を積極活用。41保育園で長野県の水力発電等の電気を使用。電気代も年間約6,000万円から約5,500万円と500万円節約できた。

- ①新設、大規模改修予定の公共施設のエネルギー性能向上の取組
- ②既存の公共施設のエネルギー性能の向上策
- ③公共施設省エネ指針策定、環境モデル都市参加等今後の取組

(3) 家庭分野の省エネ策

我が国の家庭のエネルギー消費の約30パーセントを占めているのが暖冷房。家庭分野の省エネといえば、こまめな消灯、厚着や薄着などと呼びかける「こまめ・がまんの省エネ」とも言われている。

今後は、機器の使い方や、省エネ性能の高い機器選択と並んで、住宅そのものを省エネにすることで大きな効果が期待できる。市民の健康にも大きなメリットが。そこで、省エネルギー住宅ZEH(ゼッチ)（ネットゼロ、エネルギーハウス）について見解を伺う。

- ①ZEHとは

- ②住宅の断熱性能と健康との関係
- ③ZEHを推進するために市ができることは

日本共産党

質問者 20番 山田 喜代子

1 平和事業について

核兵器禁止条約が、1月22日午前零時に発効した。

人類の歴史で初めて「核兵器は違法」とする国際法が誕生したことは、大きな意義をもつものである。昨年12月の国連総会では、条約参加を訴える決議に130ヶ国が賛同し国連加盟国の3分の2を超えた。

非核平和都市宣言を行っている市として、今後、どのような平和施策を展開していく考えか伺う。

2 コロナウイルスから命と生業を守ることにについて

コロナウイルス感染者数が日を迫って増え続け、2月1日には300人を超えた。止まらない感染拡大及び医療のひっ迫と言う現状に対して「医療壊滅」になる恐れが指摘されはじめている。感染防止と経済活動再生を両立させる最大のカギは、検査及び医療提供体制の抜本的拡充だ。

更に自粛・休業要請は、業者への速やかで十分な補償だ。市として、どう対応していく考えか。今までの事業の検証も含めて伺う。

3 消費生活センターの充実について

消費生活センターは、消費者安全法及び消費者基本法によって法的に設置と業務の基本が定められている。そして、その身分や待遇についても近年勧告などが相次いでいる。「困ったときはすぐ相談を」と県消費者センターは謳っている。市民の困りごとに対し、センターは十分な体制となっているか。

1 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 市の医療体制について

- ①現状について伺う
- ②入院困難者の事例等はあるか
- ③市内における潜在保健師、潜在看護師の把握について

(2) PCR検査について

- ①現状について
- ②対象外のPCR検査についての市の見解を伺う。
- ③重症者の定義

(3) 新型コロナワクチンの接種について

- ①市の準備体制について
- ②スケジュールについて

2 市内における新規住宅開発について

(1) 現状の開発状況について

(2) 新規住宅開発に伴う庁舎内の連携について

(3) 入居にともなう課題について

①小中学校

ア 小中学校の推移について

イ 児童・生徒の推移に基づき計画をたてていると思われるが、現状について市の見解を伺う。

②保育園、幼稚園

ア 住宅増、人口増における保育園、幼稚園の対応について、市の見解を伺う。

創 進

質問者 10番 櫻井正夫

1 県立印旛沼公園周辺の諸問題について

- (1) 以前に、質問いたしました佐倉市と印西市との周回自転車ロードの件ですが、その後の経過を伺います。
- (2) 令和2年に師戸城址内に展望台の建築物について、その後の千葉県との話し合いの経過を伺います。
- (3) 舟戸大橋が、まもなく完成されます。そして歩道は竜ヶ谷橋の歩道に継がると思いますが、それで良いのですが、竜ヶ谷橋から50メートル位先に鎌苅の方から盛土ができず、かれた土手があります。ここに64号線から師戸川に人と自転車の通れる橋梁を付けたら良いと思いますが、そんな計画はないか伺います。
- (4) 令和2年末に民間業者の活用に向けたサウンディング型市場調査をされたそうですが、内容について伺います。
- (5) 市有地は農地転用をする事が出来るのか伺います。
- (6) 道路をはさんで師戸城址側の市有地に、師戸地区の皆さんは、ここにミニ道の駅として30坪位の建造物を建てて、1階を地元の野菜売場、そして2階を軽い食事の出来るお店をと望んでいます。皆さんのこのような希望に、市としての考えを伺います。
- (7) 今後の市としての方向性を伺います。

2 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 新型コロナウイルス感染症禍で何時もと違う予算編成と思うが、主な事業とどんな面に配慮されたか伺います。
- (2) 健康子ども部健康増進課に新型コロナウイルス感染症対策室を設置されましたが、子ども達は新型コロナウイルスに抵抗力が強いと言われていますが、感染を子ども達が家庭内に持ち込む事があると専門家は言っていますが、設置された対策室で十分な子ども達への指導は発信されるか伺います。
- (3) 印西市で最初に新型コロナウイルスに感染症の陽性と結果が出た時、最初に何処が受け入れしてくれるか伺います。
- (4) 急激な新型コロナウイルスの感染者は無いと思いますが、万が一の場合のときの医療機関の確保は充分なのか伺います。
- (5) 各市町村で新型コロナウイルスの感染者数が明記されておりますが、良くなって帰宅された方は何人位おられるのか伺います。

響（ひびき）

質問者 19番 金丸和史

1 「印西市自転車の安全・安心利用に関する条例」に関すること

- (1) 改正の予定はないか。
- (2) 自転車保険の加入の状況は。
- (3) (2)の規定を「努力義務」から「義務」規定にすることは考えていないか。
- (4) 昨今の自転車利用について法違反やマナー違反の事由を多くみかけるが、今後の対応はどのように考えているか。
- (5) 近隣自治体と連携して行うことはないか。

2 新型コロナウイルス対策に関すること

- (1) 今回の緊急事態宣言後の職員の勤務内容について
 - ①変化はあったのか。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策室について
 - ①市の組織の体制の概要
 - ②次の(3)を合算した予算総額
- (3) ワクチン接種について
 - ①スケジュール
 - ②ワクチン接種の実施方法（接種場所を含めての予定）
 - ③医療従事者の確保

3 「予備費」に関すること

この項目は、予算関連の質問であり、予算審査常任委員会に付託されることが予定されているため、「予備費」に限定して以下の質問を行う。

- (1) 地方自治法の規定は。
- (2) 当初予算額は。
- (3) 予備費の推移は。
- (4) 最近の行政需要を考えると、2については予備費の対応も視野に入れるべきと考えるがどのように考えているか。